

中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定による認定申請書

令和 年 月 日

相馬市長

(申請者) 住所
名称
氏名 _____ 印

私は、_____が経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っていることにより、下記のとおり、借入れの減少が生じ、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

1 金融機関からの総借入金残高のうち、_____からの借入金残高の占める割合 _____% (A/B)

A: 令和 年 月 日の _____からの借入金残高 _____円

B: 令和 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 _____円

2 _____からの借入金残高の減少率 _____% ((D-C)/D×100)

C: 令和 年 月 日の _____からの借入金残高 _____円

D: 令和 年 月 日 (Cの前年同期を記入) の _____からの借入金残高 _____円

3 金融機関からの総借入金残高の減少率 _____% ((F-E)/F×100)

E: 令和 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 _____円

F: 令和 年 月 日 (Eの前年同期を記入) の _____金融機関からの総借入金残高 _____円

第 号

令和 年 月 日

申請のとおり相違ないことを認定します。

認定者名 相馬市長 立谷 秀清

(注) 本認定書の有効期限 : 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定による認定申請書

令和 年 月 日

相馬市長

(申請者) 住所
 名称
 氏名 _____ 印

私は、_____が経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っていることにより、下記のとおり、借入れの減少が生じ、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

1 金融機関からの総借入金残高のうち、_____からの借入金残高の占める割合 _____ % (A/B)

A: 令和 年 月 日 の _____からの借入金残高 _____ 円

B: 令和 年 月 日 の金融機関からの総借入金残高 _____ 円

2 _____からの借入金残高の減少率 _____ % ((D-C)/D × 100)

C: 令和 年 月 日 の _____からの借入金残高 _____ 円

D: 令和 年 月 日 (Cの前年同期を記入) の _____からの借入金残高 _____ 円

3 金融機関からの総借入金残高の減少率 _____ % ((F-E)/F × 100)

E: 令和 年 月 日 の金融機関からの総借入金残高 _____ 円

F: 令和 年 月 日 (Eの前年同期を記入) の _____金融機関からの総借入金残高 _____ 円

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

残高証明書等内訳表 (7号認定)

1 指定金融機関からの借入金残高

指定金融機関名	直近の借入金残高 (令和 年 月 日時点)	前年同期の借入金残高 (令和 年 月 日時点)
	円	円
	円	円
	円	円
	円	円
合 計	円	円

2 指定金融機関以外の金融機関からの借入金残高

借入金金融機関名	直近の借入金残高 (令和 年 月 日時点)	前年同期の借入金残高 (令和 年 月 日時点)
	円	円
	円	円
	円	円
	円	円
合 計	円	円

上記のとおり相違ありません。

住 所

氏 名
(名称及び代表者氏名)

印